

# 広報みすず

11  
2018

第457号

美鈴が丘まちづくり協議会

**第34回**  
**美鈴が丘町民大運動会**  
10月28日(日)  
美鈴が丘まちづくり協議会



開会式



優勝の西街区

秋晴れの青天に恵まれ、来賓20人を招き盛大に開催された。開会式は美鈴が丘中学校吹奏楽部の皆さんによる軽快な行進曲に乗って役員・選手が国旗を先頭に、協議会旗・体協旗及び17町内会旗を掲げ堂々の入場行進でスタート。

競技は4街区の対抗戦で、応援も含め約千五百人が参加。まず小学1・2・3年生による「かけっこ」で競技が開始された。子ども達も大勢出場して大

人たちと一緒に競技に熱中。各町内会が団結して優勝を目指して熱戦を繰り広げた。勝敗は南街区と最後まで争い、1点差で西街区が競り勝った。かつ東街区の6連覇を阻止して優勝を果たした。

柳田大会会長は「今年には日本各地で地震、台風などの大災害があったが、このような時こそ地域の繋がりが

助け合いが必要です。今年のテーマは、運動会！出来る幸せかみしめてです。今日の運動会が出来る事に感謝し、地域の交流・絆が深まり災害に強く、住み良い明るい町になればいいと思います」と熱く語った。また、各町内体育委員や関係組織の方々から多大なご尽力を頂いたとその労をねぎらった。

激戦終了後は各街区集会所で打ち上げ慰労会が盛大に行われ各選手の手頑張り称え合った。団地内で友人知人が増え、お互い誘い合って各行事への参加が増えれば、楽しい思い出作りが出来、子ども達が将来美鈴が丘に戻ってくる世代交代の流れが加速してくれることを願っている。



パン食い競争



大声で応援



来賓の方々も参加



綱引き

★組長・班長さんをお願い！一軒ずつ戸別配布してください！

◆**こども110番の家10/6**  
**情報交換会 青少協**  
 「こども110番の家」



植岡少年育成官が解り易く解説

の登録は美鈴が丘で425軒。(市全体では約1万3千軒)。市教委・佐伯警察署・小中学校防犯・ガードボランティア・まち協等関係者50人が台風接近の中、熱心に参加。松尾会長は各部・各団体・110番の家等、町を挙げて一体となつて見守ることが大切と挨拶。平成9年に西区で子供が襲われた事件をキッカケに広島西署と青少協が取組をスタート。立ち上げの最初から関わつて来た植岡少年育成官は①不審者とは挙動不審な人②子供は好奇心旺盛なので、どんな場

所が危険かを教える事  
 ③入り易いが見えにくい公園の茂みの中・公衆トイレ等に注意。④インターネットの世界も外から見えにくいので要注意。⑤アイサツ声掛けは顔見知りが増える事に繋がるので大切。不審者と云う言葉だけが一人歩きしないよう要注意。木元駐在所長は、ひたたくり事件発生の前に痴漢情報があった。小さな情報でも確実に潰し事件を未然に防ぐ。油断大敵と力説した。(永瀬)

◆**下水道講座**

公民館 10/17

我々が生活をするのに最も重要なのが水。市民生活を快適に過ごすために、広島市が水の提供と下水処理に関してどの様な環境や施設を準備しているかが詳しく説明された。汚水をきれいにする微生物を顕微鏡で観察。4人家族で1日約千リットルの水を使う。



微生物の実験

◆**美鈴お達者クラブ**

公民館 10/12

美鈴お達者クラブ「新聞読み方講座」

いろいろな情報媒体が日進月歩かつ多様化している中で新聞はその中心的存在です。中国新聞社広報部長の亀川氏に「新聞の読み方講座」の講演をお願いしました。昨今フェイクニュースを意図的に流し社会の混乱を助長する不穏な媒体が現われています。新聞の立場は社会で唯一絶対の物差しではないが、不偏不党な記事は客観的事実の蓄積の上に成立しています。新聞の顔



ゲームやお喋りで楽しく脳トレ

◆**Caféポヌール**

脳トレ 10/13

認知症カフェで脳トレ&レクレーション企画が「ら・ふいっとHOUSE」で開催され40人が参加。今回は建部佐伯区長や厚生部長・健康長寿課長・区社協の三上ボランティアコーディネーターらが視察を兼ねて参加者と一緒にゲームなどを楽しんだ。

町内会を考える(最終回)  
**温もりのあるまちを目指して**

半年に渡り町内会に関する拙文を届けさせていただきました。繰返しになりますが、町内会の加入は任意であり未加入を理由として不当な扱いを受けることはありません。しかし、未加入者が増えると地域コミュニティの質が低下するのです。町内会は行政との窓口、防犯・防災、子育て、スポーツ・健康づくり、文化活動支援など多岐にわたる地域ニーズに応えることが求められています。未加入者が増えることはマンパワーと同時に活動原資も低下することとなり、現実、加入率の低い地域の中には環境悪化など様々な問題が顕在化している場合があります。高齢化が進行する中においては町内会の質的変換が必要ですが、工夫と努力によってカバーができます。でも、拒絶の姿勢と無関心は本人を含めた生活・地域課題の解決を困難とするのです。美鈴が丘まちづくり協議会は「慣れ親しんだこのまちで、いつまでも安心して暮らしたい」との皆さんの願いを受けとめ、「若い時の70%の力であっても、30%をカバーする知恵と助けがあれば100%の生活ができる」をあるべき地域像として掲げています。政治の無策、行政の力が低下している今日こそ、自分たちの課題は自分たちで解決に導く。共・協の力を発揮することが必要なのです。町内会に未加入または退会された皆さん、様々なお考えとご事情があると推察します。それでも町内会に力を貸してください！加入してください！「米百俵の精神」の故事を紹介するまでもなく、次世代への継承を見据えた町内会活動が求められているのです。(福の神)

### 青少協の未来像について(40周年を迎えるに当たり)

広島市内では、高級住宅地として評価の高い、来年40周年を迎える美鈴が丘団地は、地域・学校・家庭が、もう一つの家族として、お互いに、助け合い、支え合って絆を深めてきました。少子高齢化の中、地域の宝の子どもの健全育成が課題となっていますが、その前に、私たち大人の健全育成こそが、緊急の課題となっていると思

います。資源のない日本では、面倒で手間暇かけないと良質な商品が出来ない農業作物や、社会のあらゆる問題を解決していく人材育成が緊急課題であります。その為にも、私たち大人一人ひとりが善悪のけじめのある発言と行動をして、正直・勤勉・勤労・誠実に生きていく姿をこれからの日本を担っていく子ども達に示していくことが重要であり、愛する美鈴が丘の未来像だと確信しています。

(美鈴が丘青少年健全育成連絡協議会 会長 瀬川 晴雄)

### こんにちば赤ちゃん

26

美鈴に生まれてきてくれて

ありがとう!!

- 岸本 波瑠くん 1 / 15 南四
- 酒屋 住歩ちゃん 2 / 3 西四
- 木村 陽くん 5 / 7 南二
- 津村 皐月ちゃん 5 / 9 東五
- 森本 愛依ちゃん 5 / 17 西三
- 宮下 蒼志くん 6 / 6 東三
- 田中 美凧ちゃん 6 / 15 東一
- 廣近 詩織ちゃん 6 / 27 緑二
- 植松 佑心くん 7 / 2 南三
- 福原 凛知くん 7 / 19 南四

#### ご両親様のひと言

- 我が家の天使ちゃん、すくすく育ってね!
- お兄(姉)ちゃんと仲良く元気に大きくなってね!
- ずっと待ってたよ。お兄(姉)ちゃんにそっくり。大切に育てていくからね!
- 元気に生まれて来てくれてありがとう。
- 毎日を楽しみながら成長して欲しい。



#### 昔遊びを楽しもう

美鈴が丘小 10 / 23

恒例の楽しいイベントが1年生89人、ゲストティーチャー30数人が参加して9種類の伝統的な懐かしい遊びを体験。地区社協の主催。



「たけうま」にはみんな大苦戦

#### サムエル美鈴が丘

こどもの園運動会 10 / 6

当日は、台風の影響のため、美鈴が丘小学校の体育館で運動会は開催されました。園児たちは日ごろ練習してきた成果を出し切ってきた一杯頑張っていました。特に最後の年長さんのリレーはとても盛り上がり、見ている大人たちの応援にも力が入っていました。園長先生は、「嬉しかった子も、悔しい思いをした子もいたでしょうが、それが運動会です。みんなの心が成長したと思います。みんなは本当に素敵な子ども達です」とお話しされていました。(沖広)



運動会の花形はやはりかけっこ

#### 美鈴が丘小学校

秋季運動会 10 / 1

団体演技では、一生懸命に練習してきた成果を大勢の観客の前で各学年共に披露した。1・2年生は、『ドドド★ドラえもん』アツプテンポの曲にのせてポンポンを使って踊り微笑ましかった。3・4年生は、ハッピーにハチマキを締め、裸足で『ソーラン節』どっこいしょどっこいしょを踊った。中腰の体勢ながら、勢いがありかつよかった。5・6年生は、『組体操』で互いに信頼しなければできない技を披露し観客を魅了した。(藤井)



魚釣りの楽しい遊びに夢中



子ども達の豊かな想像力を実感



組体操はお互いの信頼が大切

4周年記念誌がたまたま編集中心!

まちづくり協議会10月定例役員会報告&コミュニティ会議報告(10/27)

■駐在所連絡協議会報告(木元所長・植松巡查)

①佐伯署管内で72歳の女性が20万詐欺される架空請求特殊詐欺事件が発生。金融機関で使用用途を聞かれたら冠婚葬祭に必要と言えと指示されていた。②9/25に南3丁目交差点で死亡事故が発生した。小学生が下校する時間帯であり多数の児童が信号待ちしていた。一部の児童の服にガラスの破片が飛び散るなど一歩間違えば大惨事になる可能性のある事故であった。

■美鈴が丘中学校報告(松山校長)

7/7の土砂崩落でグラウンドが埋まり、現在堆積土砂を撤去すると同時に堰堤のあった部分には大型土嚢を積み上げた。グラウンドの表土の入れ替えに11月末まで要するが、一定の危機的な状況は脱したと判断している。

■IGLふれ愛ケアセンター(向管理者)

ドイツから2人のボランティア研修生が来日。美鈴が丘を拠点に市内各地で研修する予定であり、日本の文化を理解することも目的であるので、見かけたら声がけをしてほしい。

■土砂崩落対策説明会の報告(事務局長)

9/13に西集会所において、住民165名が参加して開催した。内容詳細は10月広報みすずに掲載済。

■共同募金について(宗山会計)

例年通り実施するが、今年はまち協として羽根そのものは辞退。

■広報部(広報部長)

広報紙に対するアンケート調査を11/9配布、11/未回収の日程で実施の予定。協力願いたい。

■功労表彰について(事務局長)

森下副会長(南二町内会長)が共同募金会奉仕功労で授賞される。

■遊・遊スタンプラリー(まち協会長)

10/7が台風の為中止になったが、12/9小学校を会場として開催予定。

◆亥の子祭り

西街区 10/21

31年間継続している伝統ある亥の子祭りが青天の下行われた。イノシシは多産ということと、子孫繁栄を願うと同時に、商売繁盛・健康を祈るお祭りでもあり、秋の収穫を感謝する意味もあるとの事。幼児、児童が約100人、保護者80人が集まり、神事後、法被を着て亥の子餅をつきながら町内を巡回した。「いーのこ いーのこいーのこもーち ついて はんじょうせえ はんじょうせえ」子ども達の元気の良い掛け声が秋晴れの空に響き渡った。(中本)



亥の子餅を皆でつく

◆千羽鶴を

原爆の子の像へ届ける

平和と子ども達の幸せな未来を祈ってみんなで千羽鶴を折り、原爆記念日の前に原爆の子の像へ届け続けて13回目になる。今年は古田シズエさん(91)が一人で毎日3羽ずつ1年かけて、もう一つの千羽鶴を折って届けた。



原爆の子の像にて

◆町内ソフトボール

リーグ戦の結果

(今年度で閉幕)

今年度のリーグは参加チームが総当たりで対戦し、優勝は東4丁目6連覇。二位は東2丁目。

昭和62年に発足した当大会は、若手層の参加が少なくなり、選手不足で試合の棄権が相次ぎ閉幕になりました。(世話人 仁井賢治)

美鈴が丘のカレンダーが出来上がりました!!

西暦2019年度版

のカレンダー(5月に年号が変わる為西暦表示してあります)を販売致します。美鈴が丘の季節の風景や各種イベント(とんど・夏祭り・敬老会等)の写真を使っています。出来るだけ計画や行動予定をし込みは班長迄!



■お知らせ・表彰

★広島県共同募金 会長表彰(奉仕功労者)

南2丁目町内会長 森下 幾三様

■お知らせ・催し

11/10(土) ふれあい

音楽祭(美鈴高校)

11/11(日) 佐伯区民祭り

11/17(土) りんりん小学校

11/18(日) クリーン

キャンペーン

11/18(日) 秋の

おとなりさん祭り

11/24(土) 25(日)

公民館まつり

12/1(土)

防災体験ツアー

12/9(日) 遊・遊

スタンプラリー

12/16(日) 第30回

バドミントン大会

◎今月の一句

猿酒や つかは森の

気とならむ

壽子

広報みすず 第457号 編集 発行 美鈴が丘まちづくり協議会 平成30(2018)年11月9日

